

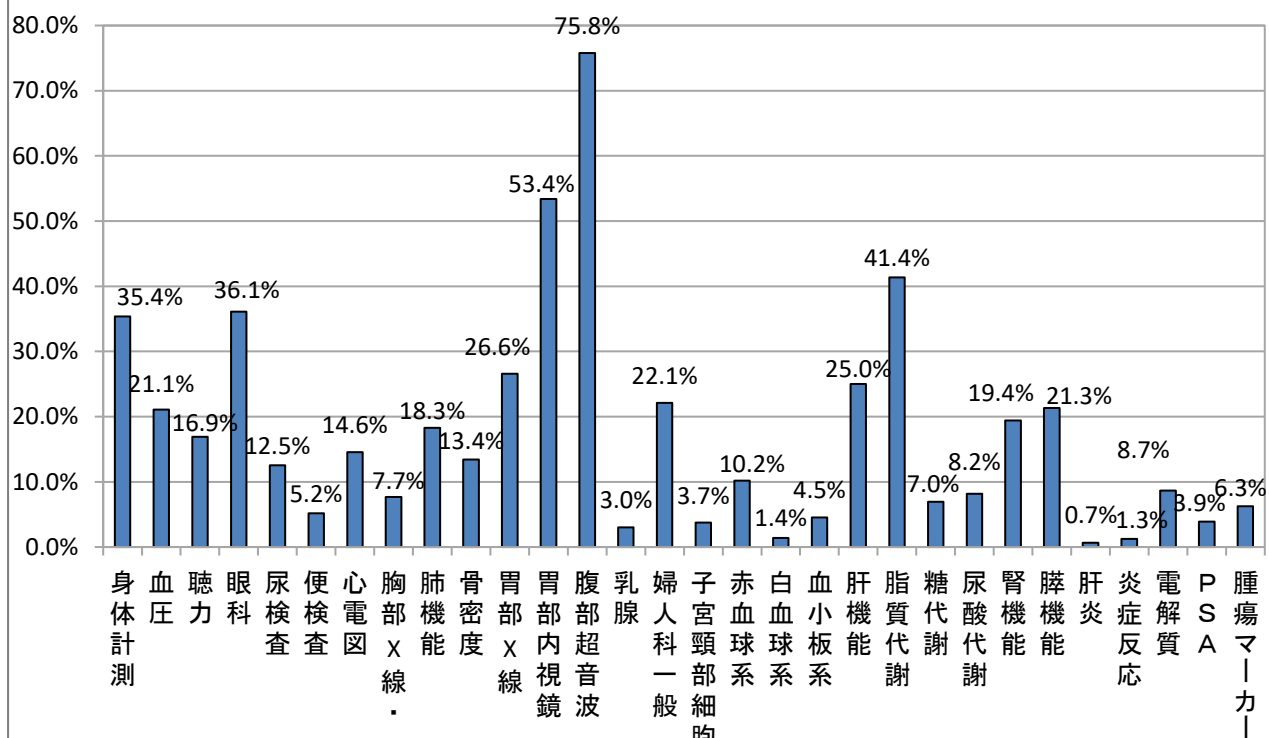
一次健診結果(判定)

一次健診判定別結果

項目	受診者 総数	判定1		判定2		判定3		判定4		判定5		判定6	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
身体計測	37830	24442	64.6%			13388	35.4%						
血圧	37836	26935	71.2%	2924	7.7%	2213	5.8%			647	1.7%	5117	13.5%
聴力	36317	30171	83.1%			6144	16.9%			2	0.01%		
眼科	16537	8888	53.7%	1677	10.1%	3044	18.4%			1400	8.5%	1528	9.2%
尿検査	37818	26505	70.1%	6570	17.4%	2471	6.5%			2272	6.0%		
便検査	27460	26041	94.8%					1419	5.2%				
心電図	36493	27329	74.9%	3847	10.5%	2889	7.9%	1584	4.3%	835	2.3%	9	0.02%
胸部X線・CT	36267	28760	79.3%	4721	13.0%	1921	5.3%	692	1.9%	173	0.5%	0	0.0%
肺機能	14512	11856	81.7%			1351	9.3%			1305	9.0%		
骨密度	4345	3762	86.6%							486	11.2%	97	2.2%
胃部X線	16843	12065	71.6%	297	1.8%	3559	21.1%	917	5.4%	5	0.03%		
胃部内視鏡	6680	789	11.8%	2325	34.8%	3179	47.6%	281	4.2%	102	1.5%	4	0.06%
腹部超音波	16176	2613	16.2%	1303	8.1%	11203	69.3%	189	1.2%	868	5.4%		
乳腺	7507	5237	69.8%	2043	27.2%	68	0.9%	158	2.1%	0	0%	1	0.01%
婦人科一般	6702	5220	77.9%	0	0%	1143	17.1%			339	5.1%	0	0.0%
子宮頸部細胞診	6697	6446	96.3%			56	0.8%			195	2.9%		
赤血球系	36603	30740	84.0%	2128	5.8%	2607	7.1%			959	2.6%	169	0.5%
白血球系	29484	27620	93.7%	526	1.8%	453	1.5%			885	3.0%		
血小板系	18507	17063	92.2%	1187	6.4%	42	0.2%			215	1.2%		
肝機能	37831	23255	61.5%	5120	13.5%	5002	13.2%			4454	11.8%	0	0.0%
脂質代謝	37831	13450	35.6%	8727	23.1%	9259	24.5%			3562	9.4%	2833	7.5%
糖代謝	37837	17506	46.3%	12254	32.4%	4904	13.0%			1303	3.4%	1870	4.9%
尿酸代謝	30025	24527	81.7%	3047	10.1%	1135	3.8%			327	1.1%	989	3.3%
腎機能	30156	20641	68.4%	3654	12.1%	5220	17.3%			553	1.8%	88	0.3%
膵機能	7239	6735	93.0%			401	5.5%			103	1.4%		
肝炎	12169	11855	97.4%	234	1.9%					80	0.7%		
炎症反応	11096	10416	93.9%	541	4.9%	0	0%			139	1.3%		
電解質	2826	2574	91.1%	7	0.2%	115	4.1%			130	4.6%		
PSA	6944	6673	96.1%							271	3.9%		
腫瘍マーカー(PSA含む)	8944	8384	93.7%							560	6.3%		
総合判定	38404	1541	4.0%	2920	7.6%	15644	40.7%	2397	6.2%	15645	40.7%	257	0.7%

一次健診有所見率

※有所見＝判定3以上



※腫瘍マーカーにはPSAを含む

がん発見者数

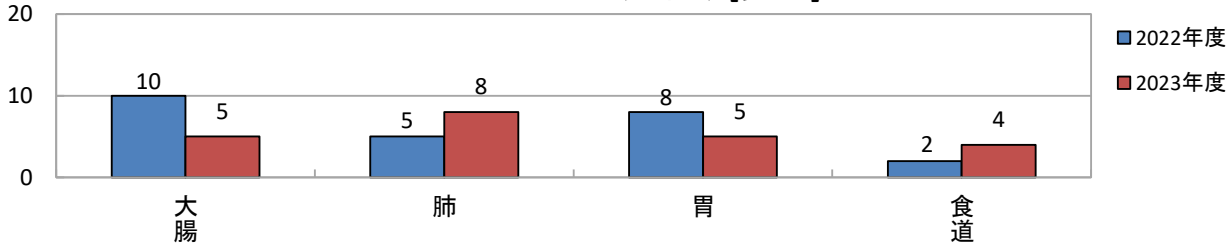
2025年3月31日現在

男女別がん発見者数

*疑いは除く。()内はがん発見数のうち一次健診での発見者数

		大腸がん	肺がん	胃がん	食道がん	乳がん	子宮がん (体がん含む)	合計
男性	2022年度	10	5	8(8)	2(1)			25
	2023年度	5	8	5(4)	4(4)			22
女性	2022年度	3	3	1(0)	0	21	0	28
	2023年度	4	1	0	0	25	0	30
合計	2023年度	9	9	5	4	25	0	52

がん発見者数[男性]



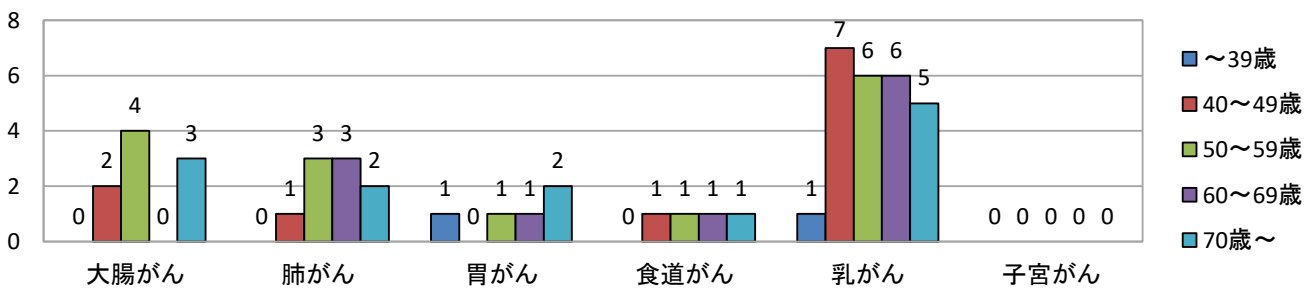
がん発見者数[女性]



年齢別がん発見者数

	大腸がん	肺がん	胃がん	食道がん	乳がん	子宮がん	合計
～39歳	0	0	1	0	1	0	2
40～49歳	2	1	0	1	7	0	11
50～59歳	4	3	1	1	6	0	15
60～69歳	0	3	1	1	6	0	11
70歳～	3	2	2	1	5	0	13

年齢別がん発見者数



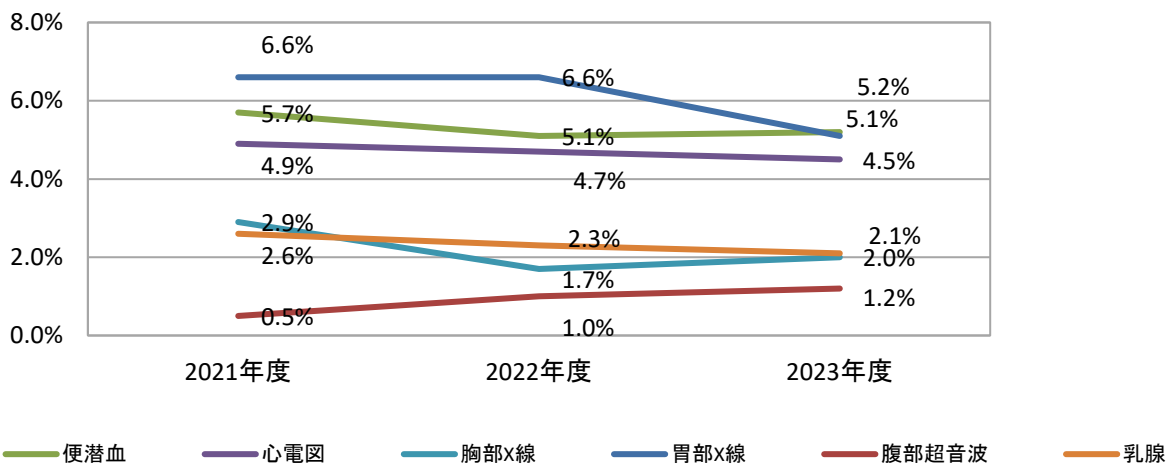
2023年度がん発見者数は乳がんが25名と多く、大腸がん9名、肺がん9名であった。また、一次健診の胃部内視鏡でのがん発見者数は、胃がん発見者数の5名中の4名、食道がんでは4名のすべてであった。年齢別がん発見者数をみると、30歳代でがんが発見されたのは2名で胃がんが1名、乳がんが1名であった。40歳代のがん発見者数は11名で60歳代のがん発見者数11名と同数であった。乳がんの発見者数は40歳代が7名と50歳代、60歳代の6名を超えて最多であった。

二次検査結果 二次検査受診率

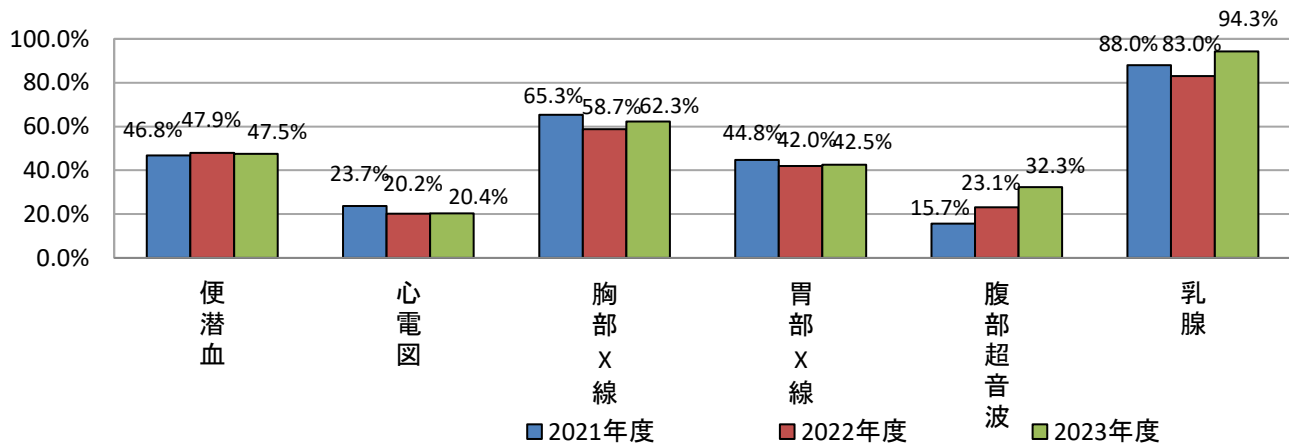
※がん発見数について、ここでは二次検査で発見された人数を報告している

一次検査項目	二次検査指示者数(人)	二次検査指示率	二次検査受診者数(人)	二次検査受診率	がん発見数	がん発見率	陽性反応的中度	前年度比受診者数(人)	前年度比受診者率
便潜血	1419	5.2%	674	47.5%	9	0.033%	0.634%	11	-0.4%
心電図	1584	4.3%	323	20.4%				-13	0.2%
胸部X線	710	2.0%	442	62.3%	9	0.025%	1.268%	82	3.6%
胃部X線	917	5.4%	390	42.5%	1	0.006%	0.109%	-104	0.5%
腹部超音波	189	1.2%	61	32.3%	0	0.000%	0.000%	25	9.2%
乳腺	158	2.1%	149	94.3%	25	0.333%	15.823%	7	11.3%

二次検査指示率



二次検査受診率



二次検査受診者数については、2023年度は2039名で2022年度の2031名に比べて8名増加した。当院での二次検査受診者数は1385名(2022年度1349名)、他院の二次検査受診者数は654名(2022年度682名)で他院での二次検査受診者数が減少した。

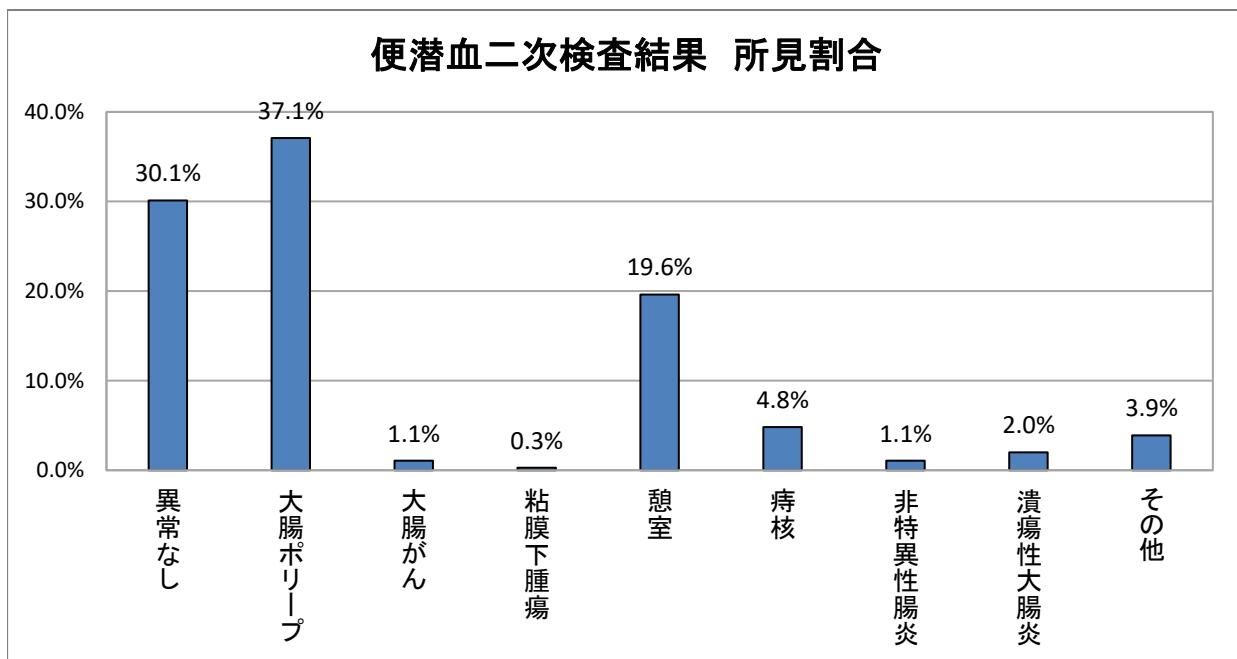
一次検査項目別でみると、腹部超音波検査では当院の二次検査受診者数が52名(2022年度29名)と増加し、胸部X線の当院の二次検査受診者数も321名(2022年度231名)と増加した。

二次検査受診率については、腹部超音波の二次検査受診率が32.3%(2022年度23.1%)、乳腺の二次検査受診率が94.3%(2022年度83.0%)と上昇した。二次検査の受診率が減少したのは便潜血のみで0.4%の減少であった。胃部X線の二次検査受診者数は104名減少したが、胃部X線の二次検査指示率が5.1%(2022年度6.6%)に減少したため、二次検査受診率は0.5%上昇した。

便潜血二次検査結果(所見内容と所見数)

※疑いを含む

所見	当院	他院	合計	割合(%)
異常なし	158	66	224	30.1%
大腸ポリープ	187	89	276	37.1%
大腸がん	5	3	8	1.1%
粘膜下腫瘍	2	0	2	0.3%
憩室	127	19	146	19.6%
痔核	12	24	36	4.8%
非特異性腸炎	5	3	8	1.1%
潰瘍性大腸炎	8	7	15	2.0%
その他	17	12	29	3.9%



便潜血二次検査の所見割合は、大腸ポリープ、憩室、痔核の順で多くなっており、例年通りの結果である。大腸がんは9名発見されている。

二次検査全体の受診率は47.5%に対して、健診当日に便潜血の受診勧奨を行った受診者の二次検査の受診率は64.4%であった。

心電図二次検査結果(所見内容と所見数)

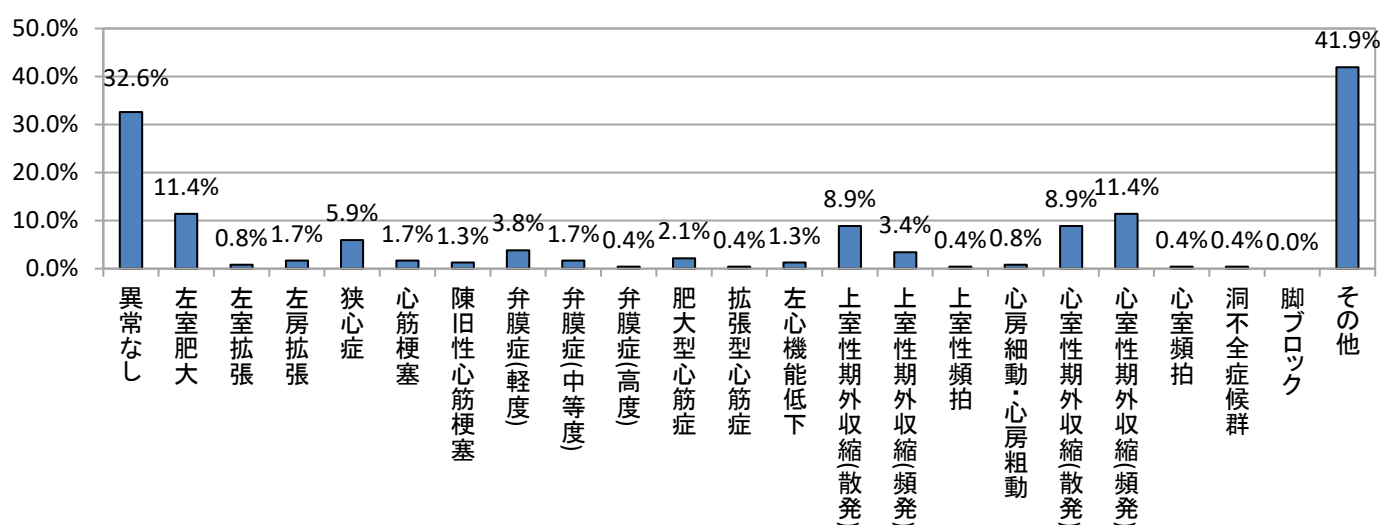
※疑いを含む

所見	当院	他院	合計	割合(%)
異常なし	48	29	77	32.6%
左室肥大	10	17	27	11.4%
左室拡張	0	2	2	0.8%
左房拡張	2	2	4	1.7%
狭心症	6	8	14	5.9%
心筋梗塞	0	4	4	1.7%
陳旧性心筋梗塞	0	3	3	1.3%
弁膜症(軽度)	5	4	9	3.8%
弁膜症(中等度)	1	3	4	1.7%
弁膜症(高度)	1	0	1	0.4%
肥大型心筋症	3	2	5	2.1%
拡張型心筋症	0	1	1	0.4%
左心機能低下	1	2	3	1.3%
上室性期外収縮(散発)	9	12	21	8.9%
上室性期外収縮(頻発)	7	1	8	3.4%
上室性頻拍	1	0	1	0.4%
心房細動・心房粗動	1	1	2	0.8%
心室性期外収縮(散発)	11	10	21	8.9%
心室性期外収縮(頻発)	20	7	27	11.4%
心室頻拍	1	0	1	0.4%
洞不全症候群	0	1	1	0.4%
脚ブロック	0	0	0	0.0%
その他	61	38	99	41.9%

[検査方法]

	件数	割合
心電図	30	8.2%
心臓超音波	140	38.0%
ホルター心電図	80	21.7%
負荷心電図	70	19.0%
心臓CT	3	0.8%
その他	45	12.2%

心電図二次検査結果 所見割合



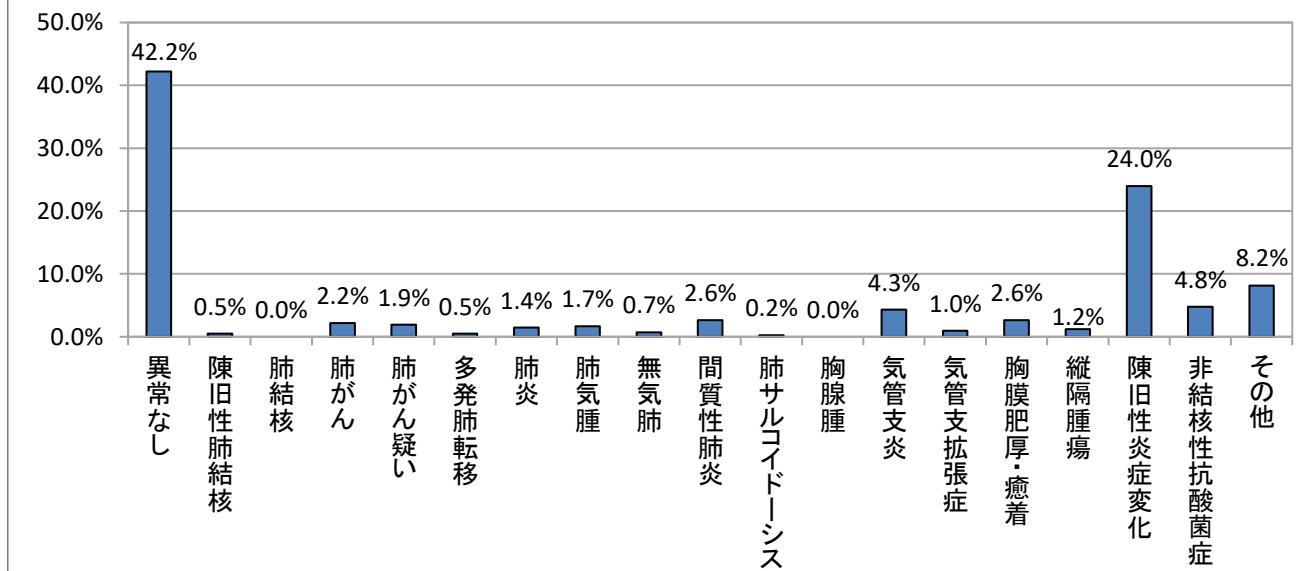
心電図二次検査結果の所見割合をみると、異常なしが32.6%(2022年度28.8%)で一番多かった。その他の所見ではブルガダ症候群が16名で最も多く、例年と同様であった。高血圧の所見が9名、ST低下や2束ブロックなどの心電図異常が所見として把握できた。精密検査方法は例年と同様に心臓超音波検査が最も多く、ホルター心電図、心電図検査と併せて実施されていることが多かった。

胸部X線二次検査結果(所見内容と所見数)

※疑いを含む

所見	当院	他院	合計	割合(%)
異常なし	139	37	176	42.2%
陳旧性肺結核	1	1	2	0.5%
肺結核	0	0	0	0.0%
肺がん	7	2	9	2.2%
肺がん疑い	8	0	8	1.9%
多発肺転移	0	2	2	0.5%
肺炎	4	2	6	1.4%
肺気腫	4	3	7	1.7%
無気肺	2	1	3	0.7%
間質性肺炎	7	4	11	2.6%
肺サルコイドーシス	1	0	1	0.2%
胸腺腫	0	0	0	0.0%
気管支炎	12	6	18	4.3%
気管支拡張症	2	2	4	1.0%
胸膜肥厚・癒着	6	5	11	2.6%
縦隔腫瘍	4	1	5	1.2%
陳旧性炎症変化	82	18	100	24.0%
非結核性抗酸菌症	16	4	20	4.8%
その他	19	15	34	8.2%

胸部X線二次検査結果 所見割合



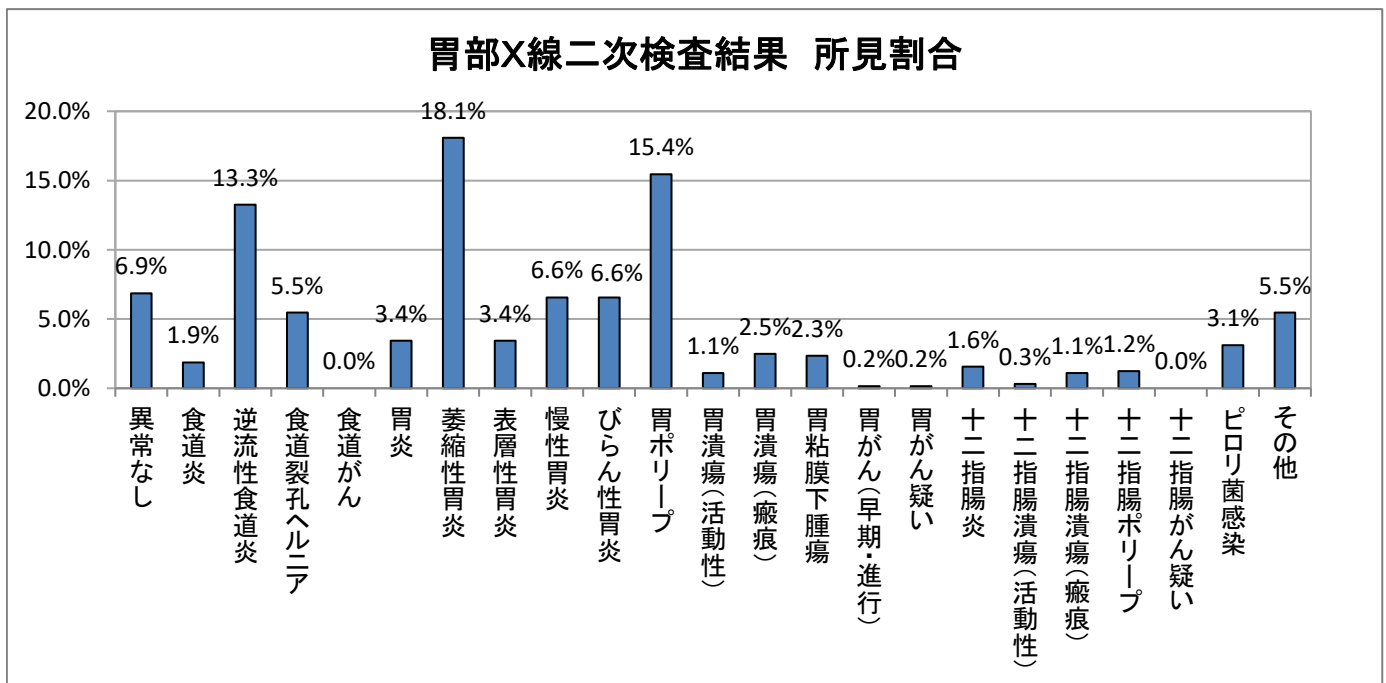
胸部二次検査の結果、肺がん発見者数は9名となった。所見割合は異常なしが42.2% (2022年度37.2%) で最も多かった。ついで陳旧性炎症変化が24.0%であった。その他所見では、肺繊維症、良性肺結節がみられた。

胃部X線二次検査結果(所見内容と所見数)

※疑いを含む

所見	当院	他院	合計	割合(%)
異常なし	21	23	44	6.9%
食道炎	5	7	12	1.9%
逆流性食道炎	67	18	85	13.3%
食道裂孔ヘルニア	34	1	35	5.5%
食道がん	0	0	0	0.0%
胃炎	6	16	22	3.4%
萎縮性胃炎	93	23	116	18.1%
表層性胃炎	16	6	22	3.4%
慢性胃炎	14	28	42	6.6%
びらん性胃炎	34	8	42	6.6%
胃ポリープ	68	31	99	15.4%
胃潰瘍(活動性)	6	1	7	1.1%
胃潰瘍(癒痕)	9	7	16	2.5%
胃粘膜下腫瘍	11	4	15	2.3%
胃がん(早期・進行)	1	0	1	0.2%
胃がん疑い	1	0	1	0.2%
十二指腸炎	8	2	10	1.6%
十二指腸潰瘍(活動性)	2	0	2	0.3%
十二指腸潰瘍(癒痕)	4	3	7	1.1%
十二指腸ポリープ	6	2	8	1.2%
十二指腸がん疑い	0	0	0	0.0%
ピロリ菌感染	6	14	20	3.1%
その他	23	12	35	5.5%

※胃がんについて、二次検査で見つかった人数のみを報告している

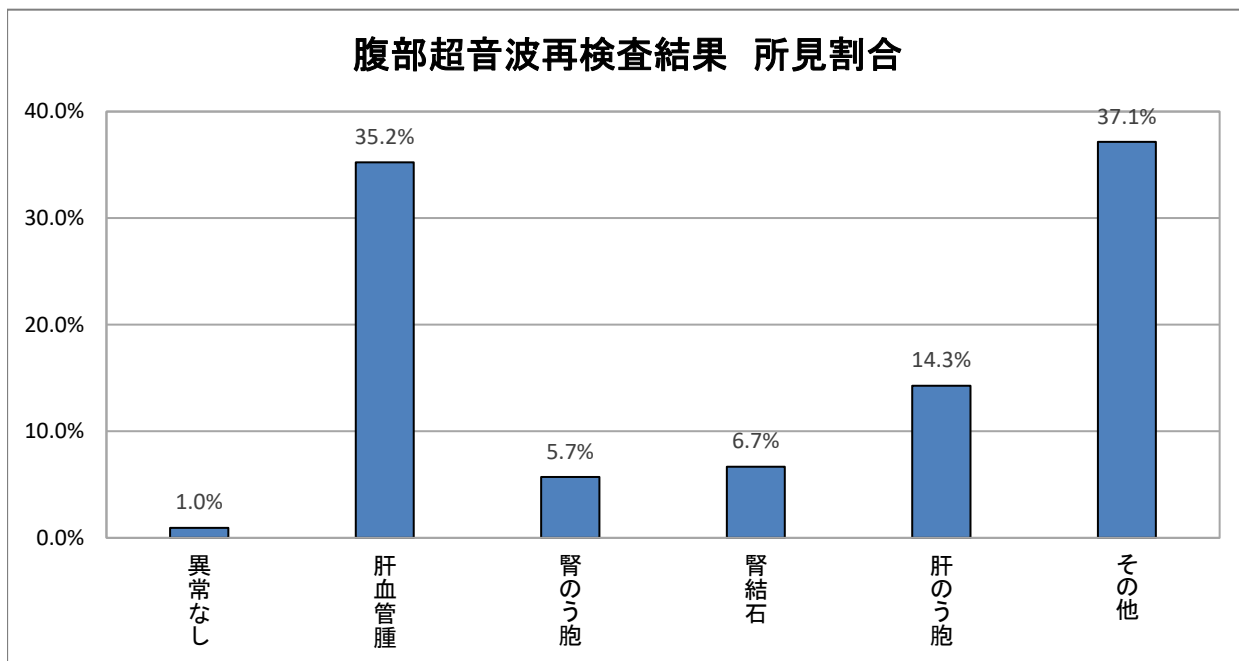


胃部X線二次検査の所見割合をみると、2022度と同様に萎縮性胃炎、胃ポリープ、逆流性食道炎の順に高くなっている。その他所見はバレット食道、食道ポリープの所見が多かった。食道静脈瘤の所見も把握されている。二次検査から胃がんは1名発見された。

腹部超音波再検査結果(所見内容と所見数)

※疑いを含む

所見	当院	他院	合計	割合(%)
異常なし	1	0	1	1.0%
肝血管腫	34	3	37	35.2%
腎のう胞	6	0	6	5.7%
腎結石	7	0	7	6.7%
肝のう胞	13	2	15	14.3%
その他	33	6	39	37.1%



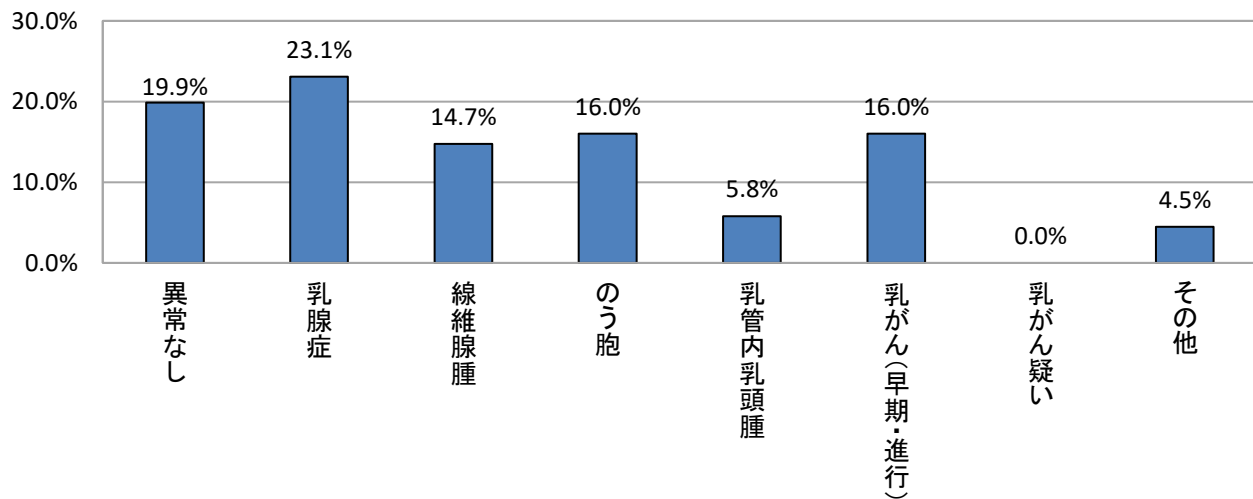
腹部超音波の6か月後再検査について、腹部超音波再検査結果が確認できた61名のうち37名に肝血管腫の所見がみられた。その他の所見としては胆のうポリープ、血管筋脂肪腫、胆石が多かった。

乳腺二次検査結果(所見内容と所見数)

※疑いを含む

所見	当院	他院	合計	割合(%)
異常なし	26	5	31	19.9%
乳腺症	27	9	36	23.1%
線維腺腫	14	9	23	14.7%
のう胞	15	10	25	16.0%
乳管内乳頭腫	6	3	9	5.8%
乳がん(早期・進行)	20	5	25	16.0%
乳がん疑い	0	0	0	0.0%
その他	2	5	7	4.5%

乳腺二次検査結果 所見割合



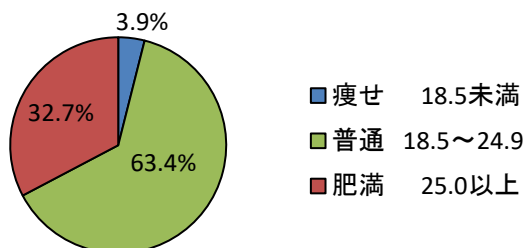
乳腺二次検査の結果、乳がん発見者数は25名であった。所見割合をみると、乳腺症23.1%(2022年度20.0%)、異常なし19.9%(2022年度28.0%)、のう胞16.0%(2022年度16.0%)、線維腺腫14.7%(2022年度19.3%)、の順で所見が多くなっている。乳頭内乳管腫は9名で2022年度の1名から8名増加した。その他所見は、石灰化、良性病変であった。

一次健診結果(その他)

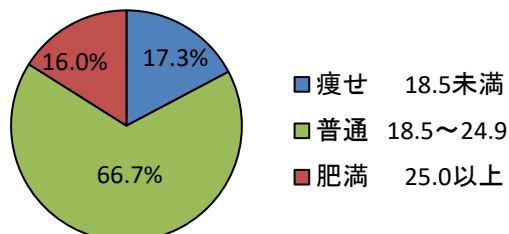
体格指数(BMI)

	男性		女性		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
痩せ 18.5未満	928	3.9%	2458	17.3%	3386	9.0%
普通 18.5~24.9	14943	63.4%	9499	66.7%	24442	64.6%
肥満 25.0以上	7717	32.7%	2285	16.0%	10002	26.4%

体格指数(BMI)[男性]



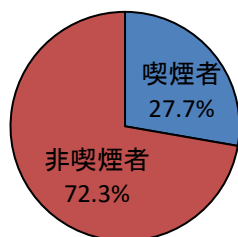
体格指数(BMI)[女性]



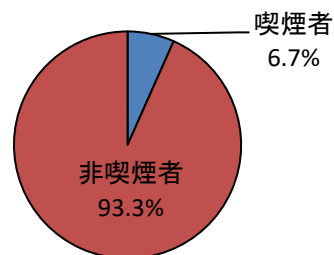
喫煙者と非喫煙者の割合

	喫煙者数	割合	非喫煙者数	割合
男性	5392	27.7%	14046	72.3%
女性	728	6.7%	10207	93.3%
合計	6120	20.1%	24253	79.8%

喫煙者と非喫煙者の割合[男性]



喫煙者と非喫煙者の割合[女性]

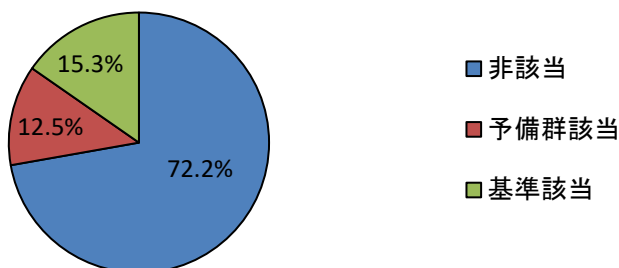


体格指数の結果は、男性・女性ともに「痩せ」「普通」「肥満」の割合に大きな変化はなかった。喫煙率は男性27.7% (2022年度28.6%)、女性6.7% (2022年度7.0%)という結果で、男女ともに喫煙率は若干減少した。

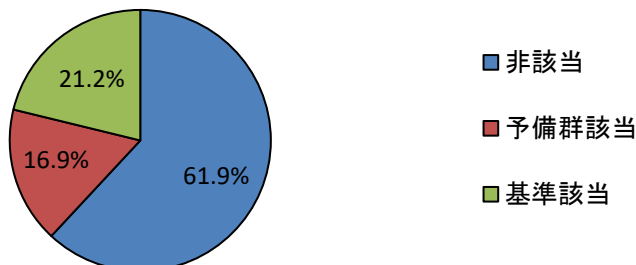
メタボリックシンドローム判定

		～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳	75歳～	合計
男性	非該当	2321	3379	3535	2145	504	170	12054
	予備群該当	431	878	1144	663	169	0	3285
	基準該当	182	710	1557	1267	344	65	4125
女性	非該当	1764	2874	3110	1623	413	168	9952
	予備群該当	54	99	199	128	29	0	509
	基準該当	16	88	192	170	62	17	545
合計		4768	8028	9737	5996	1521	420	30470

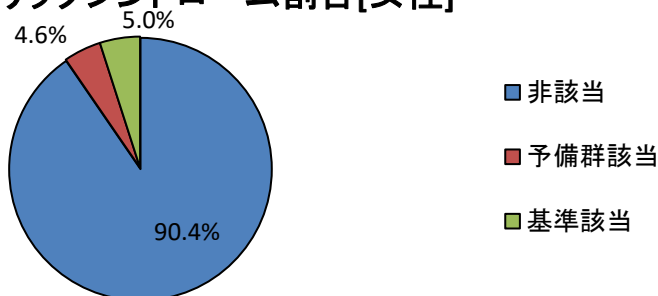
メタボリックシンドローム割合[総合]



メタボリックシンドローム割合[男性]



メタボリックシンドローム割合[女性]



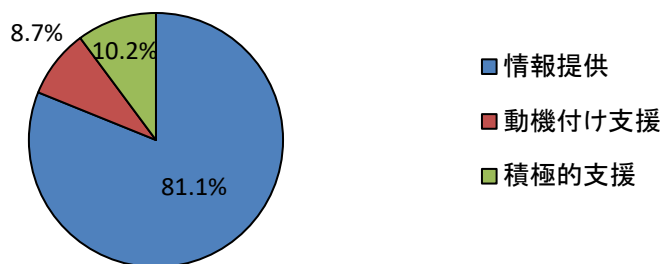
メタボリックシンドロームの階層化に関して例年と大きく変化はみられない。非該当の割合は2023年度の男性は61.9%（2022年度61.5%）、女性は90.4%（2022年度90.4%）で、男性が0.4%増加し、女性は同率であった。基準該当の割合は2023年度の男性は21.2%（2022年度21.2%）、女性は5.0%（2022年度4.7%）で男性は同率、女性は0.3%増加した。

特定保健指導 特定保健指導階層化

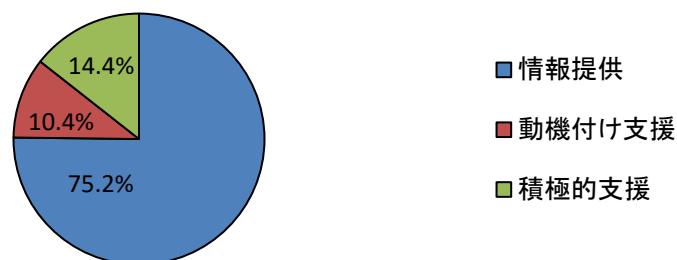
		～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳	75歳～	合計
男性	情報提供	2217	3505	4587	3340	855	170	14674
	動機付け支援	311	521	563	450	166	0	2011
	積極的支援	436	964	1101	289	0	0	2790
女性	情報提供	1730	2811	3197	1787	472	162	10159
	動機付け支援	78	173	202	102	32	0	587
	積極的支援	30	82	104	34	0	0	250
合計		4802	8056	9754	6002	1525	332	30471

40～74歳	男性		女性		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
情報提供	12287	75.2%	8267	91.9%	20554	81.1%
動機付け支援	1700	10.4%	509	5.7%	2209	8.7%
積極的支援	2354	14.4%	220	2.4%	2574	10.2%
合計	16341	100.0%	8996	100.0%	25337	100.0%

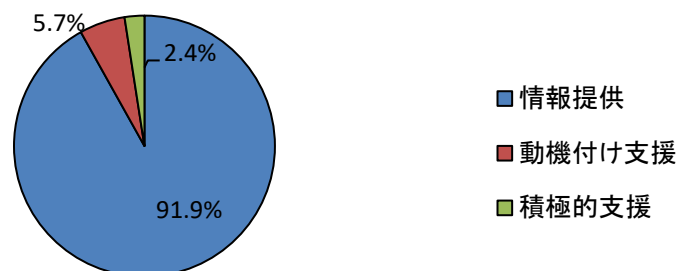
特定保健指導階層化[総合]



特定保健指導階層化[男性]



特定保健指導階層化[女性]



※特定保健指導階層化の円グラフについては、特定健診の対象者である40～74歳の受診者を対象としている

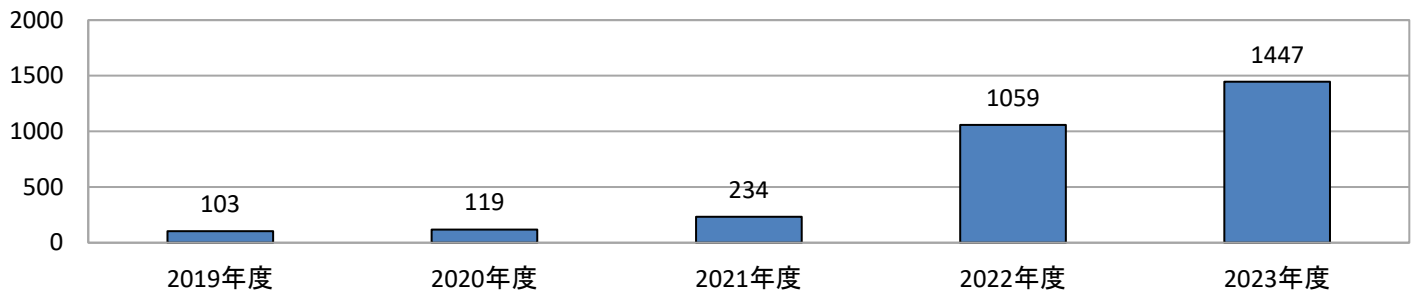
特定保健指導階層化に関して、男性は24.8%(2022年度26.3%)が積極的支援もしくは動機付け支援に該当し、女性は8.1%(2022年度8.2%)が積極的支援もしくは動機付け支援に該当した。

男性は2022年度に比べ情報提供該当者が73.7%から75.2%に増加し、積極的支援該当者・動機付け支援該当者ともに減少した。女性は2022年度に比べ情報提供該当者は91.8%から91.9%と、ほとんど変わりがなかった。

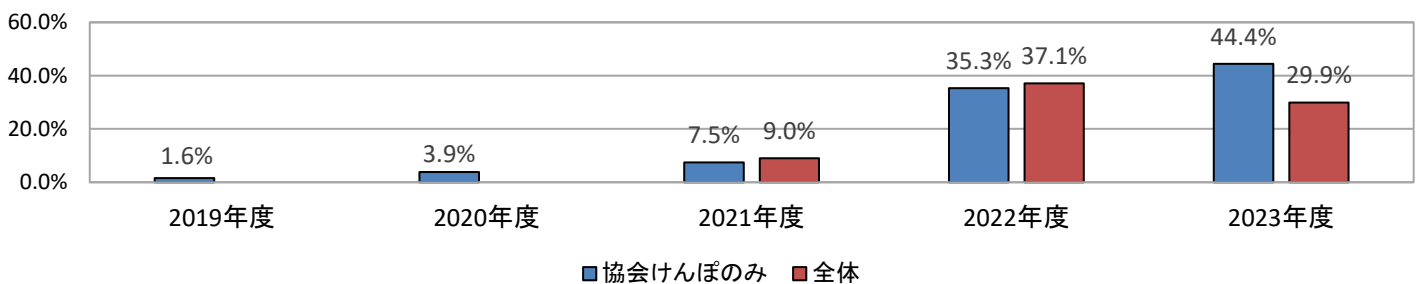
特定保健指導実施者数推移

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
動機付け支援	64	74	150	544	804
積極的支援	39	45	84	515	643
合計	103	119	234	1059	1447

特定保健指導実施者数推移



特定保健指導実施率推移

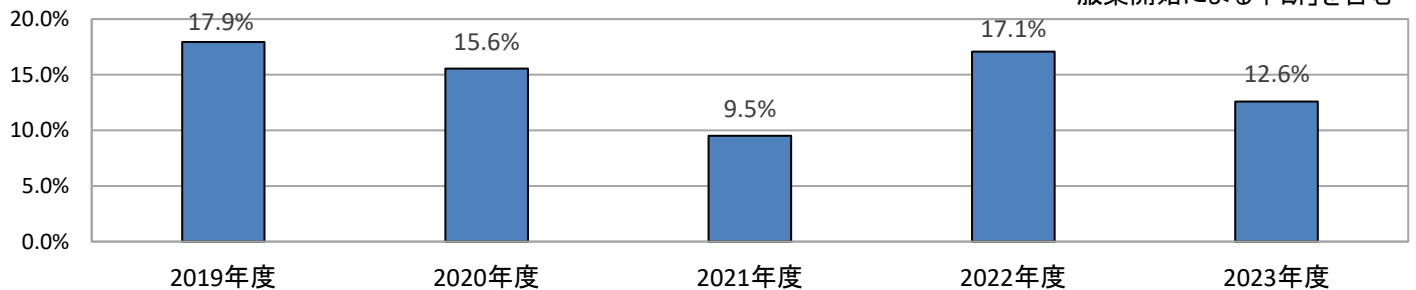


特定保健指導途中修了者数・途中修了者率推移

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
途中修了者数	7	7	8	88	81
途中修了者率	17.9%	15.6%	9.5%	17.1%	12.6%

特定保健指導途中修了者率推移 ※「資格喪失」

「服薬開始による中断」を含む



2023年度の特定保健指導実施者数は1447名だった。2022年度の実施者数は2021年度の約4.5倍の1059名であったが、2023年度はさらに388名増加した。実施率については、年々増加傾向である。協会けんぽ実施率をみると、2023年度の当院実施率は44.4%であり、協会けんぽ愛知支部が報告した2023年度の被保険者の実施率23.4%を超えて実施することができている。

途中修了者率については、年度によりばらつきがあるものの、2023年度は12.6%だった。協会けんぽ愛知支部が報告した2023年度の途中修了者率は20.9%であり、そちらを下回る結果となっている。